

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
SZ18 前頁続	30代	男	2級	【通所】 情報収集/コミュニケーション	昔は通所先に変わった人がいて対応が難しかった。 仲良くなつてから精神科病院に通院していることを言う。昔よりは障害者に対して理解はあると思う。	
				【通所】 人権		
				【通所】 その他		
SZ19	50代	男	2級	【通所】 生活	現在は、母親が書類の手続きをしてくれているが、両親も高齢で自分でしていかなくてはいけないと思っているがどうしていいかわからない。 同居している家族の病気の悪化によっては近い将来、単身生活が現実味を帯びてきているので不安である。 自分の障害状態でも働けるような職場を探したい就労の機会を得る様な情報が不足していると思う。	相談支援専門員
				【通所】 その他		
				【通所】 医療機関		
SZ20	50代	男	B2	【通所】 災害時	たまに服薬を忘れることがある。 近くの公民館だとは思いますが、避難場所がどこかを知らない。 療育手帳を持っている事を聞かれたら言うが、自分が障害だと言う認識はない。 約4年前に生活保護のCWに勧められて療育手帳を取得しているが、手帳自体が何なのか分からない。	通所している事業所の職員
				【通所】 人権		
				【通所】 その他		
				【通所】 収入・生活費		
SZ21	40代	男	2級	【通所】 仕事	夫婦ともに金銭管理が苦手で、月末になると生活費が不足してしまう。 収入の多い仕事に就きたいが、病気のことを理解してもらいながら安心して続けられる仕事はない。作業所に慣れてしまつて仕事に踏み出せない。 バスの料金が精神手帳では安くならない。	妻、B型事業所の職員、相談支援専門員、生活保護のケースワーカー
				【通所】 外出状況		
				【通所】		

日常生活の状況について（精神障害者/入院）

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
SN1	60~64歳	男	2級	【通所】 暮らし	入浴が多い（3回/週）。	
				【通所】 収入・生活費	家族からの援助がないと生活できない。	
				【通所】 仕事	早く退院して仕事をしたい。	
				【通所】 外出状況	兄が来たときのみしか外出できない、たばこを禁止されている、院内の散歩がしたい。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	健常者と一緒に楽器を弾きたいが場所や機会がない。	
SN2	40代	女	2級	【通所】 災害時	避難場所についてはっきりとは聞いていない、わからない。	入院患者、母、主治医
				【通所】 暮らし	相談できる看護師が一人しかいない、話がわからない。	
				【通所】 収入・生活費	自由に使えない。	
				【通所】 外出状況	同伴でないと外出できない、外に出たい。	
				【通所】 スポーツ	スポーツがしたい、みたい。	
SN3	50代	男	2級	【通所】 人権	精神障害を周りに言えない。	主治医、PSW、相談支援専門員 友人
				【通所】 収入・生活費	年金と保険費を含めても生活が厳しい。	
				【通所】 仕事	これまで一般就労したが、障害を持ってからは就職が難しい。面接で落とされる。	
				【通所】 外出状況	外に出たい。段差が多い。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	パソコンがしたいが操作が分からない。教室はお金がかかる。	
SN3	50代	男	2級	【通所】 生活	地域とのつながりが全くない。どう輪に入っているかわからない。	
				【通所】 医療機関	天候によっては通院しづらい。	
				【通所】 スポーツ	精神障害者が出来るスポーツが少ない。スポーツをしたいが情報が無い。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	職業能力開発校に通いたい。情報が無い。	
				【通所】 災害時	避難先を知らない、分からない。	

日常生活の状況について（発達障害者）

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手	
H1	20代	男	B1	【入所】	暮らし	本人に手がかかる。排せつや入浴、食事など、声掛けや見守りが必要で目が離せない。	本人；両親、生活介護事業所 両親；事業所、病院Dr
				【通所】	収入・生活費	障害基礎年金の金額が減っている。今後施設入所する時に必要経費が支払えるだけの金額か心配。	
				【通所】	外出状況	障害特性上、他人との距離感が近いこと、女性へのこだわり等があり、両親のどちらかが必ず同行する必要がある。歩き方が独特であり、周囲から奇異にみられることもある。	
				【通所】	余暇活動/社会参加	水泳をさせたいが、他者へちよっかいを出したり、女性更衣室へ入ろうとするため、利用できない。	
				【通所】	余暇活動/社会参加	成人向けの言語訓練やSSTなど利用できたら良いがない。	
				【通所】	生活	感覚過敏で同じ服しか着ない。衣替えをする際に服が変わるのに受け入れができず変えられない。	
				【通所】	スポーツ	受け入れ先がなかなかない。障害の理解がなく、入れてもらえない。	
				【通所】	情報収集/コミュニケーション	コミュニケーションが苦手な特性であり、理解してもらうまで時間がかかる。	
				【通所】	災害時	集団は苦手であり、また周囲から理解してもらえないため、避難所へ行くことはあきらめている。福祉避難所は場所が分からない、遠くにあれば利用は難しい。	
				【通所】	人権	支援学級から「もう対応ができない」と言われ、特別支援学校へ転校した。教諭が求めることが大きく従えないと更衣室へ閉じ込められたりした。職員（教員）の対応により不安定になるが理解がない方もいる。	
H2	30代	男	2級	【通所】	暮らし	自閉症の特性は治らないため、適宜、対処方法を教える必要がある。	本人；両親。相談支援専門 員。A型事業所職員。 母；発達障害者支援センター つばさ
				【通所】	収入・生活費	障害基礎年金の額が減っていること。 自閉症スペクトラムの方の場合、年金の申請がなかなかおきない。	
				【通所】	余暇活動/社会参加	コミュニケーションのスキルを身につけるためのリハビリがない。	
				【通所】	スポーツ	初めての場所、知らない人がいる所は緊張するのなかなか利用できない。また受け入れ先がない。	
				【通所】	情報収集/コミュニケーション	以前のことを話したり、違う話をするので、相手に真意が伝わらない。整理して聞いてもらわないと何が言いたいかわからない。	
				【通所】	災害時	何かあれば公園に集合することに決めているが、避難しても何をしたら良いかわからないから奇異な行動をするかもしれない。長期間にいることは難しいと思う。	
				【通所】	人権	学生時代、いじめられたこともある。現在でも「障害があるから馬鹿にされるんかね」と言うこともあり、偏見も感じていると思う。	
				【通所】	暮らし	シャンプーやボディソープの1回の使用量が多過ぎるため、毎回小分けにする必要がある。トイレトイレットペーパーを多量に流し、トイレを詰まらせることなどがある。スケジュール立てが必要。	
				【通所】	暮らし		
				【通所】	暮らし		
H3	20歳未満	男	A2	【通所】	暮らし	本人；両親、自立訓練事業所 職員 母；夫、祖母。自立訓練事業 所。計画相談。自閉症協会の 会員。	
				【通所】	暮らし		
				【通所】	暮らし		

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H3 前 頁 続	20歳 未満	男	A2	【通所】 外出状況	一人で外出は難しい。本人が困った時に対応できない時にどうするか予想できないので、必ず誰か同行する必要がある。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	参加自体はしているが、必ず親が同行しないと行けない。例えば、循環バスなどがあれば途中でまでの送迎で良いので助かる。	
				【通所】 リハビリ	大人のための感覚統合の訓練がない。	
				【通所】 医療機関	これまで経験したことのない治療は予測が立たず恐怖感となる。本人から訴えることができないので、支援者から気づいて欲しい。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	単語のみの発語で、きちんと相手に真意が伝わらない。他人の話でも細かい所は汲み取れない。	
				【通所】 災害時	避難所では1, 2日過ごすのがせいぜい、周囲へ迷惑をかけないか心配なのでおそらく自家用車で過ごすしかないと思う。	
				【通所】 暮らし	見守りが必要であり、要所で指示を出す必要があるため、目が離せない。	
				【通所】 外出状況	独語があり、声が大きい。公共機関の利用ができない。静かにしないと行けない場所へは行けない。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	感覚統合、スケジュール化、巧緻性を身に着けるような大人向けのリハビリがない。	
				【通所】 医療機関	静かにしておけないのであらかじめ受診先を確保しておくかないといけない。緊急時にかかれる医療機関がない。	
H4	20歳 未満	男	A2	【通所】 スポーツ	高等部や成人向けのクラブ(サークル)等がない。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	発語がないため、pecsのカードを使用する必要がある。	
				【通所】 災害時	知っている人がいない所に行くのは難しい。本人の障害特性を知ってもらうため、常にサポートブック等を持たせる必要がある。避難所の利用はできない。	
				【通所】 人権	独語や跳ねる動きをするため、奇異な目で見られる。	
				【通所】 暮らし	一人で留守番できない。何かトラブルあれば対処できずパニックになる。	
				【通所】 外出状況	近くのコンビニでも一人では行けない。必ず誰かついていないといけない。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	コミュニケーションのスキルをあげるリハビリが欲しい。	
				【通所】 生活	学校の先生が怖い。	
				【通所】 スポーツ	障害者を受け入れるところは少なく、個別に相談するしかない。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	視覚提示が必要であるが、学校でも口頭指示なので分からない。	
H5	20歳 未満	男	B2	【通所】 災害時	避難するにも数日は良いが、長くなる。先の見通しが立たず不安になるので長期的には避難できない。	
				【通所】 人権	普通学級での交流授業の際に机にごみを入れられたり、からかわれたりといじめを受けた。	
				【通所】 暮らし	本人；両親、学校教諭 両親；自閉症協会の会員、発達障害者支援センターつばさ、小学校時代の教諭	
				【通所】 外出状況		
				【通所】 余暇活動/社会参加		
				【通所】 生活		
				【通所】 スポーツ		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション		
				【通所】 災害時		
				【通所】 人権		

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H6	20歳未満	男	B1	【通所】 暮らし	母親が仕事（出張）の時に本人が短期入所を利用しないといけない。	本人；両親、学校教諭、事業所職員 母；保護者同士の友だち、友人
				【通所】 仕事	高等部になると送迎がなくなり自主通学が必要になるが、母親の仕事の関係で送迎ができないため、高等部進学せずに就労せざるを得ないかもしれない。	
				【通所】 外出状況	時間の感覚がなく、突発時にパニックとなること、金銭感覚もないため、一人で外出できない。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	親と一緒にできないため、親が同行する必要がある。移動支援を利用できたら良いが、軽度なので利用できないと言われる。	
				【通所】 リハビリ	外出や買い物、訓練を受けたい。	
				【通所】 生活	力加減が分からず物を壊してしまふ、修理代がかかる。こたわりから電気を点けて回り電気がかかる。	
				【通所】 医療機関	親がついていかないと自分で症状等を伝えられない。	
				【通所】 スポーツ	親がついていかないと参加できない。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	口頭で言われても分からない、視覚提示が必要。	
				【通所】 災害時	不特定多数が集まる避難所は利用できない。福祉避難所も重度の方が優先であれば利用できない。	
				【通所】 人権	買い物に行った際に変な目で見られることはあるので、できるだけ働けさうな所へは行かないようにしている。	
				【通所】 暮らし	金銭管理を今は母親がしているが、自分一人になるとやっとなって行けるか不安。家事全般も一応はやっているが、計画を持って継続してできるか不安。	
				H7	20代	
【通所】 外出状況	移動自体は一人で可能だが、長時間の外出や人が多い所は物音や声、視線が気になり疲れる。					
【通所】 医療機関	子どもの高い声が苦手なので、待合室で待っている時に声が聞こえると困る。一時的に避難することもできない。					
【通所】 情報収集/コミュニケーション	ある程度は自分で調べるが、検索の仕方等を教えて欲しい。説明が回りくどいとか、分かりにくいと言われる。他者と意見が食い違った場合、どう対処して良いか困る。					
【通所】 災害時	避難先は母親と話して決めているが、避難した後はどうなるか予測がつかない。長期間になると不特定多数の所はストレスになるので、一人になれる場所が必要になるが確保できるか心配。					
【通所】 人権	インターネット等でそういう情報を見ると気持ちが悪くなる。自分もこれまで嫌な思いをしたので。）					
【通所】 暮らし	こたわりから、水光熱費や日用品の使用が激しい。夜中声がでたり、寝ないため父親が睡眠不足になる。自傷行為が激しくドアや壁を叩くので響く。					
【通所】 外出状況	買い物などに連れて行っても、店の中では周囲に迷惑をかけるので車から降ろさない。					
【通所】	本人；父親、生活介護事業所職員 父親；相談先はない。計画相談にはサービスのこととは相談するがそれ以外はない。					

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H7 前頁続	20代	女	3級	【通所】生活	入所先がなかなか決まらな。父親は精神的にも体力的にも困っている。 医療機関の理解はない。 家族であっても本人の気持ちには分らない。多分と想定して対応しているが、実際に本人が何を言いたいか、どんな気持ちなのか汲みとってあげられない。 集団の中で過ごせないで避難所の利用はできない。 変な目でみられているという視線は常に感じる。 週刺に反応されて、加害者扱いされたことがある。	何かあった時は生活介護事業所の職員に相談し、月1回相談支援専門員と面談している。相談支援専門員とは将来的(親亡き後)な生活も含め伝えていく。
				【通所】医療機関		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【通所】人権		
				【通所】暮らし		
H9	30代	女	2級A1	【通所】暮らし	現在は、両親が健在のため、困っていることはないが、父親と喧嘩することがある。 障害基礎年金2級の収入。母親に管理してもらい、お小遣いを月2回に分けて貰っている。旅行(ドイツ・スニランドに行きたい)や、将来の為に100万円貯めたいので、もう少し収入を増やしたい。 乗ろうと思うバスが遅れると計画が崩れる為、タクシーを使う。時間通りにバス(市営)が来てほしい。 市民センター等での催しに関しては、情報が無いため知らない。これまで出かけたことはない。催し物の情報があれば知れたかった。 今は日中生活介護事業所を利用し、職員にも話しても聞いてもらっていないため特に困ることはない。これまで事業所を数回変わった為、事業所内での人間関係等が上手くいっていない時はストレスが溜まり両親と喧嘩になることもあった。 精神科に月1回定期通院している。母親に付き添ってもらっている為、今は困っていないが母親が付き添いできなくなった時はどうしたら良いか不安がある。 4月の熊本地震の際は病院に入院していたので良かったが、在宅の時だったら避難所等を知らないため、どこに逃げていいのかわからない。現在市営住宅で生活しているが避難訓練等も無い為、訓練の実施を考えて欲しい。	本人；両親、事業所、計画相談 母；父、友人、事業所、計画相談
				【通所】収入・生活費		
				【通所】外出状況		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】生活		
				【通所】医療機関		
				【通所】災害時		
				【通所】暮らし		
				【通所】外出状況		
				【通所】余暇活動/社会参加		
H10	20代	男	A2	【通所】生活	親亡き後や急な入院等も含めて緊急時の対応が困る。 日常的なコミュニケーションは良いが、細かい所の理解が難しい。 公文教室に行かせたかったが断わられた。 近所との付き合いがなく、かかわりや相談先もないため、身近に頼れる所がない。	
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】人権		
				【通所】その他		
				【通所】暮らし		
				【通所】外出状況		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】生活		

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H11	20代	女	A1	【通所】 外出状況	本人が奇声をあげる等ある為、公共の交通機関が使えない。必ず母親が運転しなければならぬし、外出できる範囲も限られる。	・通所先の事業所 ・相談支援専門員
				【通所】 医療機関	大病院に行く待ち時間が長く、人も多いため調子を崩すことがあるが、誰にも助けてもらえない。長時間車の中で待つしかない時もある。	
				【通所】 スポーツ	以前利用していた障害者用のプールのプールがなくなった。ヘルパーさんにお願ひできるのならプールやジム、トランポリンができるところに連れて行ってほしいが、多動だから難しいと断られた。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	新しい事業所や短期入所の情報を知りたい。	
H12	20歳未満	女	2級A1	【通所】 情報収集/コミュニケーション	現在通所している事業所以外で、本人に合ったコミュニケーションを中々とつてもらえない(視覚提示やスケジュール提示など)。障害者(その家族)はお願ひする立場だから要望があっても言いにくい。	今は生活介護事業所の職員に本人の対応も含め、一番相談できている。将来的には入所になると思われる為、相談支援専門員と短期入所から利用することを検討しており、母親・生活介護事業所・相談支援事業所でタイミミングを員ながら進めていくことの相談ができていたため、母親一人ですぐに抱え込むことがなくなり、助かっている。
				【通所】 災害時	避難所では過ごせない。個別のスペースがある。避難所でも障害の支援員に来てほしい。本人は指示が通りにくく納得しないと動かないため、逃げ遅れる可能性もある。	
				【通所】 人権	白い目で見られるので気になる。発達障害は見ただ目で分かりにくいのので、変な目で見られることがよくある(本人と手をつないで歩く、本人が奇声をあげる等)。差別的な目は以前から変わっていない。	
				【通所】 外出状況	気分転換を兼ね、生活介護が休み(土日)の時は、母親が本人と一緒に出かけている。生活介護の利用を始めてパニックを起こす回数が格段に減った為、今は困っていることはない。	
H13	30代	男	B1	【通所】 余暇活動/社会参加	休日は母親と出かけている。市民センターのバザー等は本人がパニックになった時に母親一人ですぐに対応できないと周囲に迷惑がかかる為、行ったことがない。ヘルパー事業所も行動障害に配慮できる現場のヘルパーがおらず継続しての利用は考えていない。	「家族や相談支援専門員、事業所職員」に相談している。
				【通所】 災害時	本人が一人で過ごすことは無い。何かあっても誰かと一緒に避難できるが、避難した先でいつもと違う雰囲気や見通しが立たない生活に本人がパニックを起こす可能性はある。避難先で発達障害の方に配慮のある対応(個室やパーテーション)が必要と思う。	
				【通所】 暮らし	家事は母親が行っている。母親が入院した時は自分で洗濯や食事の用意を行っていた。将来のことを考え、少しずつ自分でしたい、と思うがさせてくれない。	
				【通所】 収入・生活費	収入は工賃のみ。現在は病院代、携帯電話代、食費、小遣いと毎月2,000円を貯金している。無駄使いはしていないが、工賃内ギリギリの状態。障害基礎年金受給されていないため、今の生活では一人暮らしも出来ない。	

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H13 前頁続	30代	男	B1	【通所】 仕事	今は就労継続支援B型を利用して、落ち着いて作業できています。しかし、将来的には一般就労を目指したい。	B型事業所職員
				【通所】 生活	親亡きあとには一人暮らしがしたい。今は両親と生活しており、母親任せの生活を送っている。その方が母親も楽なようである。しかし、将来のことを考えるとこのままではだめだと感じている。	
				【通所】 その他	暴力団関係のことが心配。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	月1回外出している。お金があつたらもっと行きたい。	
				【通所】 外出状況	バスの乗り方、乗り換え等、わからないことがある。人と一緒に出掛けられる。	
H14	30代	男	B2	【通所】 情報収集/コミュニケーション	郵便、手続きが一人では難しい。	区役所の窓口、相談支援専門員
				【通所】 災害時	避難先、避難のタイミング、避難所での生活が不安。	
				【通所】 人権	作業所の中で、利用者から嫌なことを言われた。人とトラブルになっても相談がうまくできなかつた。解決してくれなかつた。	
				【通所】 余暇活動/社会参加	スポーツをしたいと思うが、難病もあるためできるスポーツが見つからない。	
				【通所】 医療機関	病院側の都合で主治医が変わると、慣れるまでに時間がかかるため困る。	
H15	30代	女	2級	【通所】 情報収集/コミュニケーション	誰に相談したらいいのかわからない。相談支援専門員は忙しそう連絡しにくい。通所先の職員や区役所に行っても思うように相談できないことがある。	区役所の窓口、相談支援専門員
				【通所】 災害時	災害時の避難場所や必要なものがわからないため不安。	
				【通所】 人権	発達障害や難病は周囲にわかってもらえない。にくい。	
				【通所】 暮らし	本人が障害特性上、自宅でテレビを観続けて切り替えて出来なかつたり、偏食も顕著な点。	
				【通所】 収入・生活費	障害特性上、買ってほしいものがあると買うまで譲らないため、お金がかかると同じ悩みを抱える親子の集まる場にも行ってみたいが、情報が入ってこない。	
H16	20歳未満	男		【通所】 余暇活動/社会参加	学校では、担任が変わると対応が変わり、前してもらえていたことがしてもらえなくなることがある。	・障害者基幹相談支援センター ・通所している放課後等デイサービス ・病院の医師に相談したく3か月予約待ちしたが、あまり話を聞いてもらえず専門的な意見ももらえなかつた。
				【通所】 暮らし	どの医療機関もあまりにも予約がとりづらい。仕事をしているので予定を合わせにくい。また、検査も細かく区切れ時間がかかると、行くたびににお金がかかるため金銭的に苦しくなる。	
				【通所】 医療機関	情報が入ってこない。どのように情報をとつたら良いかわからない。例えば、どんな事業所があるのか、どのような条件であれば利用できるかなど。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	こだわりが強く、パニックになりやすい。母親に執着しており向かっていくことが多いが、両親も歳をとっており、大変。本人の伝えたいことが分からず、対応が難しい。	
				【通所】 暮らし	基幹支援センター 発達障害者支援センター 通所先の職員	

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手				
H17 前頁続	30代	男	A1	【通所】 収入・生活費	親なき後、ホームに入って好きな買い物ができず、将来医療費がかかることにも不安がある。今は医療費がかからないが、将来医療費がかかるようになる。					
				【通所】 外出状況	母親と障害のある息子で出かけると、トイレと一緒に入れないので困る。障害者トイレを増やしてほしい。公共の交通機関は遅れるとパニックになるし、席にこだわりもあり、周りの目が気になる。					
				【通所】 余暇活動/社会参加	重度の人の余暇がない。買い物や遊園地では順番が待たないため、人の少ない時間を狙っていくしかない。本人ではなく、家族が楽しむ余暇の場に行くとき本人は行きたくないため困る。					
				【通所】 医療機関	順番が待たない。医師にすら障害を分かっただけで、医師に詳しい医師の居るところを知りたい。病院は人が少ない所を探している。主治医の意見書をかける病院を増やしてほしい。					
				【通所】 スポーツ	アレアスの家族ロッカーに鍵がなく、着替えられない。障害者の日にプールに行っても、身体障害の方や高齢者の方がほとんどで本人の様に動きの激しい障害者は使えない。職員や他の利用者にも怒鳴られる。					
				【通所】 スポーツ	アレアスは職員も障害者の理解のない人がある。設備がよくない、ルールが厳しくなったが、ルールの分からない発達や知的の人にも人でも使いやすいようにしてほしい。					
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	みんなが平等に情報を得ることができない。障害福祉サービスの情報を得た時に、本人に合う合わないが分からない。					
				【通所】 災害時	急に逃げると伝えても、いつまでなのか等見通しが立たないと難しい。また、テレビにこだわりがあり、テレビがないと過ごせない。環境の変化に弱い為、家が崩れるまで家に居るしかないかもしれない。					
				【通所】 災害時	東日本大震災や熊本地震の際に、重度の自閉症の人たちがどのように過ごしていたかを知りたい。また、停電してテレビが見られなくなるとパニックになるので自家発電のできる施設に入所させたいと思う。					
				【通所】 人権	白い目で見られる。障害の細かい所については、まだ世間で理解されていないように思う。					
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	本人は言葉が話せない。本人と接する人は本人に合ったコミュニケーションを覚えてほしい。					
				【通所】 仕事	障害者に対して理解のある企業が少ない。障害者枠の求人が少ない。	親、友人、支援者				
				H18	20代	女	1級	【通所】 生活	精神保健福祉手帳保持者(発達障害)はJR、西鉄の割引がない⇒広げてほしい。	
【通所】 スポーツ	情報が少ない、分からない。アレアスが遠い、アレアスの場所以外でどのようなクラブ活動があるのか分からない。									
【通所】 情報収集/コミュニケーション	抽象的な説明だと分からない。口頭説明だけでは難しい。									
【通所】 災害時	ネット以外の情報が分からない。視覚障害者の避難経路。									
【通所】 人権	日常的に段差が多い、バリアフリーを進めてほしい、段差の色分けをしてほしい。									
【通所】 スポーツ	スポーツをしてみたいという気持ちもあるが、手に力が入りにくいため、できるスポーツがないと感じている。	障害者基幹相談支援センター								
【通所】 情報収集/コミュニケーション	パソコンをしてみたいと思うが、手が動みにくいため使うのは難しいと思う。									
【通所】 外出状況	歩行者用信号が青の時間にわたりきれいなことがあり不安になる。									
H19	50代	男	4級以下2級B2							

No	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H20	20代	男	4級以下2級	【通所】 外出状況	バスのアナウンスが聞こえにくい時があり困る。自転車専用道がある道でも、自転車が歩道を通り、ぶつかりそうになることがある。	区役所職員、障害者基幹相談支援センター職員
				【通所】 余暇活動/社会参加	同年代の人と関わる機会がない。	
				【通所】 医療機関	見えにくく、病院の受付時に名前等を書くのに時間が掛かってしまう。	
				【通所】 暮らし	糖尿病であるため食事制限がある。自分だけでは管理が難しい。	
H21	40代	男	B1	【通所】 収入・生活費	手元にあると遣ってしまふ。自分で管理が難しい。工賃が安い。	母親、支援者
				【通所】 余暇活動/社会参加	アレアスが遠い。	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	情報が入ってこない。どのように情報をとったら良いかわからない。例えば、どんな事業所があるのか、どのような条件であれば利用できるかなど。	
				【通所】 人権	施設に入所していた当時、嫌な思いをしたが言えなかった。	
H22	40代	男	B2	【通所】 生活	これまでの成育歴や、糖尿病を理由に施設や事業所等で受け入れを断られる。 ⇒対応できるところが少ない。	「後見人、事業所職員」に相談している。
				【通所】 暮らし	一人暮らししているが、掃除や調理はしていない。出来ないでヘルパーに手伝ってもらいたい気持ちはあるが面倒にも感じ、すぐに利用しようと思えない。 限られた食費の中で食事しているが、ヘルシーではあるがボリュームある食事を食べさせてくれるお店がない。	
				【通所】 収入・生活費	一般就労していたが、先日退職した。生活保護を受給しているが助かっているが、お金が足りない。	
				【通所】 仕事	自分が働きたい職業の求人がない。	
H23	30代	男	A2	【通所】 生活	一人暮らしの為、寂しい時がある。話し相手欲しい。	本人のことについては性的な問題もあるため、福祉関係者以外には話をし辛く、利用者の親同士でも悩みを打ち明けるまでには至っていない。また親族に本人のことを相談することはほとんどない。
				【通所】 外出状況	本人の障害特性から一人で外出することが難しいため、必ず誰か付き添わなければならない。見守りは必要であるが、外出がもっと気軽にできるようにしたい。	
				【通所】 医療機関	かかりつけ以外の病院では本人の障害特性から診察を断られることもあるので困る。障害特性に理解のある病院や医師がいると助かる。	
				【通所】 スポーツ	障害者スポーツセンターがあるが場所が遠くて連れて行きたくても難しい時がある。	